

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年2月5日朝刊

## キャベツの収穫 AIで自動化へ

東大など浜松で実証試験

スマート農業技術を農業関連機械開発などに導入してキャベツ生産の「ヤンマーアグリ」の労力削減に向け取り組んでいる東京大を中心としたグループ「キャベツ自動収穫実証コンソーシアム」は4日、人工知能（AI）を用いたキャベツ自動収穫機と運搬機の実証試験を浜松市北区大原町の「中津川農園」で実施した。同コンソーシアムは

運搬機も同様に深層学習などを活用していったらいい。生産者の中津川拓哉さん(40)は「負担



キャベツ自動収穫機と運搬機の実証試験を行う関係者  
＝浜松市北区大原町

軽減や少人数で作業できることに魅力を感じる。それぞれの現場の声を反映し、産地に合った商品開発を実現してほしい」と実用化に期待する。

同所での実証は3月までを予定し、最終的には2～3年後をめどに商品化を目指していくという。同大情報理工学系研究科の深尾隆則教授は「労働力不足を解消でき、実用化されれば農家の利益や経営向上につながる。メーカーとともにより良いものをつくっていきたい」と話した。

①キャベツ生産に人工知能(AI)を用いる目的は何か。

②キャベツ自動収穫機と運搬機では、それぞれ何が自動化されるのか。

▽自動収穫機

▽運搬機

③キャベツ自動収穫機と運搬機の商品化にはどのくらいの期間がかかりそうか。

( )

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

## 解答例

2021年2月5日朝刊

### キャベツの収穫 AIで自動化へ

東大など浜松で実証試験

①キャベツ生産に人工知能(AI)を用いる目的は何か。

(例)キャベツ生産の  
労力削減による労働  
力不足解消、農家の  
利益や経営向上

②キャベツ自動収穫機と運搬機では、それぞれ何が自動化されるのか。

▽自動収穫機

深層学習によるキャベツの検  
出や自動走行による収穫、お  
おまかな外葉除去、サイズの  
選別、コンテナへの収納

▽運搬機

深層学習の活用による、いっ  
ぱいになったコンテナの交換  
や運搬

③キャベツ自動収穫機と運搬機の商  
品化にはどのくらいの期間がかかり  
そうか。

( 2~3年 )

スマート農業技術を農業関連機械開発などに導入してキャベツ生産の「ヤンマーアグリ」の労力削減に向け取り組んでいる東京大を中心としたグループ「キャベツ自動収穫実証コンソーシアム」は4日、人工知能(AI)を用いたキャベツ自動収穫機と運搬機の実証試験を浜松市北区大原町の「中津川農園」で実施した。同コンソーシアムは

農業関連機械開発などの「ヤンマーアグリ」、農業の工業化に取り組む「デンソー」の2企業と県、JAとびあ浜松が連携している。キャベツ自動収穫機は、深層学習(ディープラーニング)によるキャベツの検出や自動走行で収穫を行い、大まかな外葉除去やサイズの選別、コンテナへの収納も自動化する。



キャベツ自動収穫機と運搬機の実証試験を行う関係者  
＝浜松市北区大原町

運搬機も同様に深層学習などを活用していったら、交換や運搬を自動で

の交換や運搬を自動で行う。生産者の中津川拓哉さん(40)は「負担

軽減や少人数で作業できるところに魅力を感じる。それぞれの現場の声を反映し、産地に合った商品開発を実現してほしい」と実用化に期待する。

同所での実証は3月までを予定し、最終的には2~3年後をめどに商品化を目指していくという。同大情報理工学系研究科の深尾隆則教授は「労働力不足を解消でき、実用化されれば農家の利益や経営向上につながる。メーカーとともにより良いものをつくっていきたい」と話した。

年 組 名前